

① 芹沢展のマンネリ感の解消，集客数アップのための検討

芹沢銈介以外の所蔵作品の展示

→令和6年3月から開始する時期の展示会では，芹沢作品を中心としつつ，他の作家の作品についても展示する予定。

市制施行70周年の記念イヤーでもあり，柏市民ギャラリー（柏駅徒歩3分のパレット柏内）でも展示会を開催予定。

② かしわミュージアムの定期的な更新，情報発信の方法検討

→コロナ禍で開設したホームページであり，コロナが明け事業を再開していく中で，情報の更新が滞ってしまっていた。令和5年度より徐々に更新を再開。コロナにとらわれない内容に変更しながらイベント情報を定期的に更新していく。

③ 柏駅東口デジタルサイネージの活用

→芹沢展の広報のために動画を作成し活用している。この他，今年度から運用開始となった柏市内循環バス（カシワワニバス）内のデジタル広告なども活用を開始した。

④ 小学生に芸術を生で鑑賞できる体験を

→子ども向け芸術鑑賞会を令和4年度に続き開催，5年度は2校実施。ジャズバンドとパーカッションで，子どもたちに新鮮な体験をしてもらえた。令和6年度も拡大予定。

⑤ 所蔵の美術作品を身近なところで鑑賞できる機会を

→（株）高島屋柏店の主催で大規模な展示会を開催することができ，初めての方にも芹沢作品を知っていただける機会となった。令和6年度は，市制施行70周年の記念イヤーでもあり，柏市民ギャラリーにて「早川義孝展」や「柏市所蔵作品展」を開催予定。

⑥ 美術関連の拠点の検討，単なる箱物にならないような工夫を

→次期の芸術文化振興計画（令和8年度から）や，次期の柏市総合計画（令和7年度から）の策定に向け，検討を進める。

その他についても引き続き検討を進める。